

久保田 信¹・檜山 嘉郎²・田名瀬英朋³：

和歌山県白浜町番所崎および京都大学瀬戸臨海実験所北浜に漂着したコブヒトデモドキ
(ヒトデ綱；コブヒトデ科)

Shin KUBOTA¹, Yoshiro KASHIYAMA² and Hidetomo TANASE³: *Pentaceraster alveolatus* (Asteroidea; Oreasteridae) washed ashore at Banshozaki and Kitahama beach of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

コブヒトデモドキ *Pentaceraster alveolatus* (Perrier, 1875) は、フィリピン、インドネシア、メラネシア、ニューカレドニア、西オーストラリアなどの熱帯海域に分布する南方系のコブヒトデ類の一種で、わが国では屋久島以南の水深25m以浅に生息し、個体数は多くはない(奥谷ほか 1994; Gosliner et al 1996; 佐波ほか 2002)。本種が、和歌山県白浜町番所崎および京都大学瀬戸臨海実験所北浜に、過去約30年間に、わずか3個体が打ち上げられたので報告する。これらはいずれも低水温の冬季から初春に、衰弱あるいは死亡直後に打ち上げられたものである。今回の報告により、和歌山県白浜町沿岸が本種の北限記録となる。

コブヒトデモドキの大きさは、本来の生息地の南方海域では幅長が20cmになる(佐波ほか 2002)が、今回報告する3個体は、その半分くらいの大きさで小型である。特徴は、体がかたく、長めの腕の先などに太い黄色の棘がある。盤や腕の色は、2個体は朱暗褐色で屋久島産のものと同様(奥谷ほか 1994)であったが、他の1個体は鶯色を呈し、フィリピン産のもの(Gosliner et al 1996)と同様の色彩であった。他の色彩変異としては、沖縄島産のものに青色の個体が記録されている(佐波ほか 2002)。

漂着記録

- (1) 1979年12月16日、瀬戸臨海実験所北浜の潮間帯へ衰弱個体(直径20cm, 体色は朱暗褐色)の打ち上げ。檜山嘉郎採集
- (2) 1989年2月8日、番所崎灯台下の浜(潮間帯)へ死亡個体の打ち上げ(直径21cm, 体色は朱暗褐色)。田名瀬英朋採集
- (3) 2007年4月11日、瀬戸臨海実験所北浜の砂浜の潮間帯中部へ死亡個体の打ち上げ(幅長69mm, 体色は鶯色)。久保田信採集(図1)

引用文献

- Gosliner, Terrence M., Behrens, David W. and Williams, Gary C. 1996. Coral Reef Animals of the Indo-Pacific. 314 pp., Sea Challengers, Monterey, California, USA.
- 奥谷喬司編著. 1994. サンゴ礁の生きもの(山溪フィールドブックス 9). 319 pp., 山と溪谷社, 東京.
- 佐波征機・入村精一・楚山 勇. 2002. ヒトデガイドブック. 135 pp., TBSブリタニカ, 東京.

(Received May 2, 2007; accepted May 31, 2007)

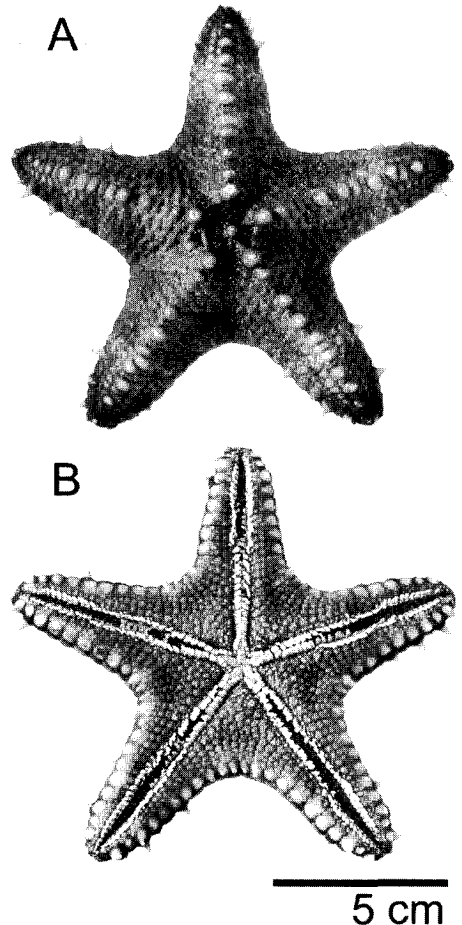


図1 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所北浜に2007年4月11日に漂着したコブヒトデモドキ(A: 背側; B: 腹側)

Fig. 1. *Pentaceraster alveolatus* (A: dorsal side; B: ventral side) washed ashore at Kitahama beach of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University in Shirahama town, Wakayama Prefecture on April 11, 2007.

¹ 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

¹ Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Shirahama-cho, Wakayama 649-2211, Japan

² 〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田1143

³ 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町676